

山の越しのお地ぞう様（石生谷町）

宮崎村から山を越えて、石生谷へ入ってきたところ  
に一けんの家があり、家の前にはこんこんとわき出ているお

しよづ（わき水）があります。

ここには、いつのころともわからぬむかしから、二体のお地ぞう様がまつられ、山を越えてきた旅人がそなえつけのしゃくで水をすくい、のどをつるおし、



こしをおろして一ぶくしたといわれます。  
むかし、近くにすむ子供が、朝おきるなり言っ  
たそうです。  
「おっ母、ぼう（ぼく）、よんべ（夜）おもっせい  
（へんな）夢を見たんやあって。あのお、山の越

しのお地ぞう様の首が水がめん中に落ちてるん  
やうて。ほいで、はよう上げてほしいって言う  
てる夢やったんや、どうしたんやろうのう。」  
と、それを聞いたおつ母さんは、信心深い人だっ  
たので、

「ほうかあ、そりゃあ、おうごっちゃ（大変だ）  
よう言うてくれた。はよう見に行つてこなあか  
んわ、ばちがあたるでな。」

と云つて、二人はすぐにお地ぞう様を見に行きま  
した。行つて見ると本とうに首が水がめの中にし  
ずんでいたの、上げようとなりましたが深くて手  
がとどかず、そこにあつたしゃくでお地ぞう様の  
首をすくい上げ、もとの所へのせました。

それから、どんな日照のときでも、たくさん  
の水がわき出してあり、お地ぞう様もやさしい顔  
で見守つておられます、その後だれか親切な人が、  
また首が落ちないようにと、セメントでくっつ  
けたといふことです。